

千葉大学医学部附属病院・血液内科で 自家末梢血造血幹細胞移植された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年7月8日

血液内科

血液内科では、人工知能（AI）医学と共同で、「自家末梢血造血幹細胞移植後の造血能回復におけるクラスター分析と予測」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2000年4月1日～2023年3月31日の間に血液内科にて自家末梢血造血幹細胞移植を受けた方（ただし診療録やデータが十分に残っている患者さんに限ります）

1. 研究課題名

「自家末梢血造血幹細胞移植後の造血能回復におけるクラスター分析と予測」

2. 研究期間

2024年承認日～2030年3月31日

この研究は、千葉大学附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

自家末梢血造血幹細胞移植後の造血能（白血球、赤血球などを作る能力）回復におきまして、白血球、赤血球、血小板のそれぞれの回復を組み合わせで分析します。分析によって、造血能回復における患者さんに共通する特徴を発見してグループ分けすること、造血能回復期間の予測および新たな予測因子（造血能に影響を及ぼす要因）を発見することを目的としました。また、造血能回復と生存率、再発率の関連性を分析します。

本研究において、移植前情報から移植後の造血能回復や影響を及ぼす要因を明らかにすることで、より良い治療方針の選択につながると考えています。

4. 研究に用いる情報の種類

- A) 診療録に記載されている年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、併用薬、血圧、基礎疾患、感染症、診断病名、Karnofsky score（全身状態の指標）、Performance status（全身状態の指標）、HCT-CI（移植前の合併症の評価指標）
- B) 診療録に記載されている、生化学、血算、凝固、血糖、尿、呼吸機能、血液ガス、ウイルス抗体等の血液検査の結果
- C) 診療録に記載されている、移植前処置、移植前治療法、移植する造血幹細胞情報、骨髄から末梢への造血幹細胞動員方法、造血幹細胞の採取回数、移植後投与薬剤、移植後合併症、移植後輸血数等の移植に関連した情報

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：人工知能（AI）医学 教授 川上英良

既存の情報提供のみを行う機関：大阪大学医学部附属病院

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院地下1階システム部指紋認証サーバー室において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院

血液内科 准教授 堺田 恵美子

043(222)7171(代表)